

# 北海道自家用新聞

発行所  
 編集兼発行人 野崎次夫  
 札幌市東区北三〇東一(郵便番号065-0803)  
 電話(〇一一)七二一—四五七八  
 支局 札幌・函館・室蘭・旭川・帯広・釧路・北見  
 定価 一部三〇〇円(会費の方は会費に含まれています)

## マイカーの世帯当たり普及台数 二年ぶりに減少 一世帯当たり一・〇六四台に 自検協

一般財団法人自動車検査登録情報協会(自検協)が集計した平成二十八年三月末現在における自家用乗用車(登録車と軽自動車の合計)の世帯当たり普及台数は一・〇六四台となり、二年ぶりに減少へと転じた。この調査は、同協会が毎月発行している「自動車保有車両数月報」の三月末現在と、総務省が発表した「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」をもとに、毎年三月末の世帯当たりの普及台数をまとめたもの。

なお、総務省の調査期日は、一月一日現在の人口・世帯数となっており、世帯数には平成二十六年から外国人住民の世帯も含まれている。平成二十八年の自家用乗用車(事業用を除く乗用車)の保有台数は、六〇五九万五千九百九十九台で、世帯数は五九六万七千七百七十七世帯であった。その結果、一世帯に一・〇六四台普及している形となった。

平成二十八年は保有台数が三十一万台、世帯数が五十三万世帯増加し、保有台数の伸び率に比べ世帯数の伸び率が大きくなったため、普及台数は昨年より一・〇〇五五台減の一・〇六四台となっている。

自家用乗用車の保有台数は、新車販売が好調であった平成二年から平成九年まで年間二〇〇万台前後増加していたが、平成十五年からは年間増加数が八〇万九千九百九十九台に落ち込んだ。平成十九年から二十三年までは新車販売の不振などにより、保有台数の伸び率が世帯数の伸び率を上回っていたことから世帯当たり普及台数は五年連続で減少していたが、その後、増加に転じ、平成二十五年には一・〇八三台にまで回復したものの、平成二十六年には一・〇六九台と減少に転じた。

都道府県別の普及台数は、トップが福井県(一・七四九台)、次に富

自家用乗用車の世帯当たり普及台数(都道府県別・ランク順)

順位	前年	都道府県	普及台数	保有台数	世帯数
1	1	福井	1.749	504,109	288,163
2	2	富山	1.706	702,157	411,570
3	3	山形	1.679	688,816	410,329
4	4	群馬	1.648	1,357,393	823,565
5	5	栃木	1.623	1,314,333	809,857
6	6	茨城	1.605	1,939,984	1,208,718
7	7	岐阜	1.596	1,283,308	804,061
8	8	長野	1.584	1,356,595	856,348
9	9	福島	1.564	1,211,071	774,515
10	10	新潟	1.554	1,376,260	885,719
11	11	山梨	1.546	547,342	354,020
12	12	佐賀	1.520	494,337	325,221
13	13	石川	1.489	707,073	474,789
14	14	三重	1.464	1,138,776	777,756
15	15	鳥取	1.451	340,271	234,501
16	16	静岡	1.414	2,183,258	1,544,095
17	17	福賀	1.403	784,620	559,129
18	18	岩手	1.403	730,782	520,986
19	19	山根	1.401	402,564	287,437
20	20	秋田	1.387	590,847	426,035
21	21	岡山	1.372	1,138,477	829,811
22	22	徳島	1.355	451,023	332,780
23	23	香川	1.337	579,762	433,549
24	24	熊本	1.314	1,009,260	767,976
25	25	宮城	1.308	1,270,957	971,642
26	26	神奈川	1.292	803,368	621,790
27	27	愛知	1.288	4,085,701	3,171,435
28	28	大宮	1.285	682,001	530,704
29	29	山崎	1.277	664,084	519,970
30	30	山口	1.237	814,312	658,456
31	31	青森	1.225	720,811	588,464
32	32	和歌山	1.215	534,183	439,637
33	33	鹿児島	1.158	932,862	805,329
34	34	愛媛	1.125	730,782	649,791
35	35	島根	1.111	1,433,311	1,290,645
36	36	広島	1.110	648,199	583,900
37	37	高知	1.108	390,759	352,809
38	38	長崎	1.083	685,597	633,084
39	39	福岡	1.081	2,535,859	2,346,328
40	40	北海道	1.006	2,768,065	2,751,282
41	41	埼玉	0.995	3,153,036	3,167,510
42	42	千葉	0.995	2,758,478	2,773,070
43	43	兵庫	0.918	2,286,423	2,490,682
44	44	京都	0.831	992,093	1,193,739
45	45	神奈川	0.725	3,039,047	4,193,331
46	46	大阪	0.653	2,734,546	4,186,316
47	47	東京	0.450	3,098,357	6,889,913
		合計	1.064	60,595,249	56,950,757

軽自動車  
**保有台数 三千万台突破**  
**世帯当たり保有台数も更に進む**

一般社団法人全国軽自動車協会連合会(全軽自協)の集計による平成二十七年十二月末現在の世帯当たり軽自動車の普及台数は、〇・五四三台と、前年の〇・五四〇台から更に〇・〇〇三台普及が進んだ。

この調査は、総務省調べの「住民基本台帳世帯数」と国土交通省調べの「自動車保有車両数」を基に算出したもの。軽自動車の保有台数は前年よりも四万三千七百五十五台増の三〇九万九千二百〇四台となり、初めて三千万台を突破し、世帯当たり普及も伸びた形となった。

軽自動車の保有台数は、昭和四十八年の車検制度導入後、昭和五十年九月までに検査を受けなかった車両を職権抹消したことにより昭和五十

一年には前年度より減少し、世帯当たり普及台数も同年には一旦下がったが、昭和五十二年以降は三十九年連続で増加している。昭和五十七年には〇・二〇二台と五世帯に一台、昭和六十三年には〇・三一九台と三世帯に一台、平成十二年には〇・四〇八台と二・五世帯に一台、平成二十三年には〇・五〇三台と二世帯に一台の普及に至っている。

軽自動車の普及の背景には、保険や税金などの維持費が登録自動車に比べ安価なことや、規格の改定により軽自動車自体の商品力が向上してきたことが挙げられている。

なお、北海道の普及台数は〇・四一八台で二・五世帯に一台、前年同様、全国で四十二位であった。

販売が好調であった平成二年から平成九年まで年間二〇〇万台前後増加していたが、平成十五年からは年間増加数が八〇万九千九百九十九台に落ち込んだ。平成十九年から二十三年までは新車販売の不振などにより、保有台数の伸び率が世帯数の伸び率を上回っていたことから世帯当たり普及台数は五年連続で減少していたが、その後、増加に転じ、平成二十五年には一・〇八三台にまで回復したものの、平成二十六年には一・〇六九台と減少に転じた。

都道府県別の普及台数は、トップが福井県(一・七四九台)、次に富

山形(一・七〇六台)、山形県(一・六七九台)が続く、上位十二県で一・五台以上の普及となっている。福井県は十五年連続で普及台数トップ。また、一台以上普及している都道府県は四〇道県であった。

これに対し、世帯当たり普及台数が一台に満たない普及台数は、東京都(〇・四五〇台)で最下位となり、次に大阪府(〇・六五三台)、神奈川(〇・七二五台)、京都府(〇・八三二台)が続いた。

なお、北海道の普及台数は一・〇六台(二七六万八〇六五台、二七五万二八二二世帯)で、普及台数は〇・〇〇二台減少したが、前年同様、全国で四十位となっている。

TOYOTA Rent a Car

トヨタレンタカーは、ハイブリッドのレンタカー保有No.1\*。

人気のハイブリッドカーで北海道を旅しよう

新型車も続々導入

プリウス4WD登場

ハイブリッド車では、満タン返却が不要な『ハイブリッド燃費精算』がオススメ!

精算金額 = 走行距離 ÷ 平均燃費 × 燃料単価

エコドライブを心掛けるほど燃料代がお得になります。

トヨタレンタカー予約センター 0800-7000-111

ホームページトヨタレンタカータイプ www.toyota.co.jp/rent/

株式会社トヨタレンタリース旭川 (本社)旭川市東蔵橋4線10号1番地8

旭川店 Tel.(0166)57-0100 大雪山店 Tel.(0166)34-0100 深川店 Tel.(0164)23-0100 稚内店 Tel.(0162)22-0100  
 旭川空港店 Tel.(0166)83-3701 富良野店 Tel.(0167)23-2100 利尻店 Tel.(0163)89-2300 稚内空港店 Tel.(0162)29-3100  
 旭川駅前店 Tel.(0166)23-0100 士別店 Tel.(0165)23-2100 利尻空港店 Tel.(0163)82-1100 留萌店 Tel.(0164)43-0100  
 忠和店 Tel.(0166)61-0100 名寄店 Tel.(01654)3-0100 礼文店 Tel.(0163)86-1117 トムム店 Tel.(0167)58-1001



9・10月強化月間

自動車点検整備推進運動

点検・整備ではじめよう 安心クルマ生活



自動車の構造及び点検・整備について...

道路運送車両法では「自動車の使用者は、自動車の走行距離、走行時...

き事柄について、目視などにより自動車...

に、国土交通省令で定める技術上の基準により、灯火の点灯、制動装置...

に、国土交通省令で定める技術上の基準により、灯火の点灯、制動装置...

近年、自動車の技術は日々進歩して...

点検・整備ではじめよう 安心クルマ生活. Advertisement for car maintenance with QR code and images of a woman and a car.

保安基準を一部改正 自動点灯機能の義務化など

国土交通省

国土交通省は、自動車の安全基準等について、国際的な整合性を図り...

新たに装着が義務付けられたのは、走行音が静かなHV車などへの「車両接近通報装置」...

また、オートライト機能は、新型車...

四ヶ月点検整備については、多くの人が実施を怠っています。しかし、十二ヶ月点検整備では実施率は五〇%

この日常点検は、症状が悪化する前に異常に気付く整備が行えることから、部品にかかる費用を最小限に抑えられることに加え、自動車の寿命を延ばすことにも繋がります。

この日常点検は、症状が悪化する前に異常に気付く整備が行えることから、部品にかかる費用を最小限に抑えられることに加え、自動車の寿命を延ばすことにも繋がります。

この日常点検は、症状が悪化する前に異常に気付く整備が行えることから、部品にかかる費用を最小限に抑えられることに加え、自動車の寿命を延ばすことにも繋がります。

この日常点検は、症状が悪化する前に異常に気付く整備が行えることから、部品にかかる費用を最小限に抑えられることに加え、自動車の寿命を延ばすことにも繋がります。

この日常点検は、症状が悪化する前に異常に気付く整備が行えることから、部品にかかる費用を最小限に抑えられることに加え、自動車の寿命を延ばすことにも繋がります。

この日常点検は、症状が悪化する前に異常に気付く整備が行えることから、部品にかかる費用を最小限に抑えられることに加え、自動車の寿命を延ばすことにも繋がります。

この日常点検は、症状が悪化する前に異常に気付く整備が行えることから、部品にかかる費用を最小限に抑えられることに加え、自動車の寿命を延ばすことにも繋がります。

この日常点検は、症状が悪化する前に異常に気付く整備が行えることから、部品にかかる費用を最小限に抑えられることに加え、自動車の寿命を延ばすことにも繋がります。

この日常点検は、症状が悪化する前に異常に気付く整備が行えることから、部品にかかる費用を最小限に抑えられることに加え、自動車の寿命を延ばすことにも繋がります。

セルフ式GSの増加で タイヤのパンクが増加?

日本自動車連盟(JAF)がロードサービス...

パンクが増加している。パンクが増加している。パンクが増加している。

パンクが増加している。パンクが増加している。パンクが増加している。

パンクが増加している。パンクが増加している。パンクが増加している。

パンクが増加している。パンクが増加している。パンクが増加している。

パンクが増加している。パンクが増加している。パンクが増加している。

パンクが増加している。パンクが増加している。パンクが増加している。

パンクが増加している。パンクが増加している。パンクが増加している。

パンクが増加している。パンクが増加している。パンクが増加している。



適切な空気圧はクルマや装着タイヤごとに定められ、運転席のドアを開けたところなどに表示されています。

適切な空気圧はクルマや装着タイヤごとに定められ、運転席のドアを開けたところなどに表示されています。

適切な空気圧はクルマや装着タイヤごとに定められ、運転席のドアを開けたところなどに表示されています。

適切な空気圧はクルマや装着タイヤごとに定められ、運転席のドアを開けたところなどに表示されています。

適切な空気圧はクルマや装着タイヤごとに定められ、運転席のドアを開けたところなどに表示されています。

適切な空気圧はクルマや装着タイヤごとに定められ、運転席のドアを開けたところなどに表示されています。

適切な空気圧はクルマや装着タイヤごとに定められ、運転席のドアを開けたところなどに表示されています。

適切な空気圧はクルマや装着タイヤごとに定められ、運転席のドアを開けたところなどに表示されています。

適切な空気圧はクルマや装着タイヤごとに定められ、運転席のドアを開けたところなどに表示されています。

自分のクルマの指定空気圧を覚えておきましょう! Advertisement showing a tire pressure label with text: タイヤ空気圧 (kPa/kg/cm²) タイヤサイズ 前・後輪 195/65R15 91H 200(12.0) 店専用タイヤ 1155/70D16 100M 420(14.2) 2A050 00

過去最高の 三万七千五百六十七台に 道内保有台数 十一年ぶりに最高台数を更新

道内の自動車保有台数が、今年七月末に三万七千五百六十七台となり、過去最高台数を記録した。

これまでの保有台数のピークは、平成十七年九月末の三万五千二百九十九台。人口減少や少子高齢化という逆風の中、これまでの最高台数を四二七六台上回った。

道内の自動車保有台数は、平成十七年のピーク以降、登録車の減少から徐々に下降し、三六〇万台が長く続いていた。しかし、この間も増え続けていた軽自動車の好調な新車販売を背景に、前年割れが続いていた。







# 北海道運輸局旭川運輸支局管内市町村別自動車数

平成28年3月31日現在

	旭川市	士別市	名寄市	富良野市	上川郡										勇払郡		空知郡				中川郡			雨竜郡	稚内市		
					鷹栖町	東神楽町	当麻町	比布町	愛別町	上川町	東川町	美瑛町	和寒町	剣淵町	下川町	占冠村	上富良野町	中富良野町	南富良野町	美深町	音威子府村	中川町	幌加内町				
貨物用	普通車	9,619	955	1,114	1,266	424	300	441	177	153	165	316	916	183	235	158	68	452	242	195	345	63	112	122	1,494		
	小型車	12,295	1,082	1,064	1,177	323	414	371	191	174	177	366	560	220	267	115	70	413	254	139	227	51	117	91	1,558		
	被けん引車	583	53	87	58	46	4	22	20	2	3	5	28	1	8	24	1	8	1	10	31	2	3	0	71		
	計	22,497	2,090	2,265	2,501	793	718	834	388	329	345	687	1,504	404	510	297	139	873	497	344	603	116	232	213	3,123		
乗合用	普通車	484	28	43	34	10	8	8	4	3	9	14	32	1	6	2	12	3	6	2	4	1	1	3	87		
	小型車	272	41	52	81	16	21	19	3	9	12	16	23	7	5	11	4	21	6	20	9	4	8	2	69		
	計	756	69	95	115	26	29	27	7	12	21	30	55	8	11	13	16	24	12	22	13	5	9	5	156		
乗用	普通車	51,465	3,432	4,568	3,701	1,020	1,822	987	584	506	666	1,225	1,771	570	512	549	283	1,810	777	445	805	197	411	287	6,265		
	小型車	72,402	4,599	5,909	5,000	1,582	2,741	1,483	869	731	812	1,643	2,415	768	803	738	335	2,442	1,179	570	886	182	383	329	6,787		
	計	123,867	8,031	10,477	8,701	2,602	4,563	2,470	1,453	1,237	1,478	2,868	4,186	1,338	1,315	1,287	618	4,252	1,956	1,015	1,691	379	794	616	13,052		
特殊用途	特種車	4,548	436	528	413	164	145	146	61	68	103	84	171	39	43	50	24	137	65	49	126	30	51	46	733		
	大型特殊車	2,329	446	414	437	92	87	284	95	58	79	90	204	66	69	77	24	128	68	52	180	29	52	64	705		
	計	6,877	882	942	850	256	232	430	156	126	182	174	375	105	112	127	48	265	133	101	306	59	103	110	1,438		
登録自動車計	153,997	11,072	13,779	12,167	3,677	5,542	3,761	2,004	1,704	2,026	3,759	6,120	1,855	1,948	1,724	821	5,414	2,598	1,482	2,613	559	1,138	944	17,769			
小型二輪車	4,146	312	508	304	142	170	89	58	61	48	83	121	65	76	51	12	170	81	34	59	9	15	19	306			
軽自動車	検査対象車	貨物車	四輪	11,746	1,799	2,060	2,057	809	635	955	543	266	229	738	913	666	521	313	105	777	724	224	463	51	164	262	2,073
		三輪	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	11,747	1,799	2,060	2,058	809	635	955	544	266	229	738	914	666	521	313	105	778	724	224	463	51	164	262	2,073	
	届出車	乗用車	62,652	3,463	5,123	4,243	1,576	2,326	1,349	724	511	593	1,569	1,817	598	569	606	175	1,962	1,002	443	790	101	264	234	7,079	
		特殊用途車	373	31	29	33	14	17	19	5	2	7	12	8	6	2	9	1	18	2	5	10	1	4	2	62	
		不明	7	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	79,190	5,767	7,809	6,751	2,557	3,145	2,449	1,366	853	947	2,454	2,987	1,369	1,182	1,029	329	3,055	1,886	742	1,351	186	484	545	10,138			
総車両数	237,333	17,151	22,096	19,222	6,376	8,857	6,299	3,428	2,618	3,021	6,296	9,228	3,289	3,206	2,804	1,162	8,639	4,565	2,258	4,023	754	1,637	1,508	28,213			
人口	343,718	20,004	28,279	22,790	7,176	10,367	6,734	3,864	3,014	3,858	8,017	10,412	3,593	3,296	3,406	1,200	11,021	5,134	2,622	4,628	756	1,642	1,546	35,847			
乗用車1両当り人口	1.8	1.7	1.8	1.8	1.7	1.5	1.8	1.8	1.7	1.9	1.8	1.7	1.9	1.7	1.8	1.5	1.8	1.7	1.8	1.9	1.6	1.6	1.8	1.8			

	宗谷郡	枝幸郡			礼文郡	利尻郡		天塩郡		留萌市	増毛郡	留萌郡	苫前郡		天塩郡		深川市	雨竜郡					不明				
		猿払村	浜頓別町	中頓別町	枝幸町	礼文町	利尻町	利尻富士町	豊富町		幌延町	増毛町	小平町	苫前町	羽幌町	初山別村		遠別町	天塩町	妹背牛町	秩父別町	雨竜町		北竜町	沼田町		
貨物用	普通車	244	292	109	755	85	69	81	285	158	793	99	79	131	297	76	171	202	827	127	101	130	53	159	1		
	小型車	205	198	80	359	99	94	151	283	97	858	200	200	175	235	67	153	168	935	195	154	206	107	276	2		
	被けん引車	7	10	2	12	4	4	2	14	15	56	2	3	7	21	1	6	15	22	1	1	2	4	0	0		
	計	456	500	191	1,126	188	167	234	582	270	1,707	301	282	313	553	144	330	385	1,784	323	256	338	164	435	3		
乗合用	普通車	9	3	0	19	14	15	1	11	3	49	5	3	6	18	2	8	2	37	2	6	5	5	13	1		
	小型車	15	7	6	15	8	5	9	12	6	42	12	10	5	16	5	10	10	26	3	8	3	6	11	0		
	計	24	10	6	34	22	20	10	23	9	91	17	13	11	34	7	18	12	63	5	14	8	11	24	1		
乗用	普通車	823	837	311	1,874	308	217	286	910	549	3,697	708	520	546	1,182	255	560	796	3,138	461	426	398	309	532	0		
	小型車	616	825	354	1,767	354	293	360	963	555	4,542	919	674	658	1,287	263	517	782	4,623	694	529	567	512	730	1		
	計	1,439	1,662	665	3,641	662	510	646	1,873	1,104	8,239	1,627	1,194	1,204	2,469	518	1,077	1,578	7,761	1,155	955	965	821	1,262	1		
特殊用途	特種車	67	119	55	226	83	59	81	99	76	519	76	55	67	160	23	63	89	385	37	41	30	26	63	0		
	大型特殊車	119	107	55	196	22	25	30	111	84	397	56	67	65	155	44	83	91	314	51	56	35	27	84	12		
	計	186	226	110	422	105	84	111	210	160	916	132	122	132	315	67	146	180	699	88	97	65	53	147	12		
登録自動車計	2,105	2,398	972	5,223	977	781	1,001	2,688	1,543	10,953	2,077	1,611	1,660	3,371	736	1,571	2,155	10,307	1,571	1,322	1,376	1,049	1,868	17			
小型二輪車	19	38	9	60	9	9	18	74	25	178	34	22	27	70	6	35	40	262	50	44	37	28	46	0			
軽自動車	検査対象車	貨物車	四輪	230	360	176	1,052	410	367	443	383	193	846	298	317	472	960	189	390	364	2,173	562	527	482	447	512	113
		三輪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	230	360	176	1,052	410	367	443	383	193	846	298	317	472	960	189	390	364	2,173	562	527	482	447	512	113	
	届出車	乗用車	406	610	287	1,502	586	533	572	709	332	3,354	577	435	488	1,174	140	486	531	3,868	564	494	450	292	555	14	
		特殊用途車	5	3	1	5	2	3	3	7	2	37	4	3	5	20	1	2	4	32	4	1	1	1	3	1	
		不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	
計	691	1,042	554	2,725	1,030	931	1,065	1,207	600	4,635	942	830	1,052	2,294	348	934	962	6,404	1,239	1,091	1,010	815	1,144	128			
総車両数	2,815	3,478	1,535	8,008	2,016	1,721	2,084	3,969	2,168	15,766	3,053	2,463	2,739	5,735	1,090	2,540	3,157	16,973	2,860	2,457	2,423	1,892	3,058	145			
人口	2,768	3,829	1,790	8,546	2,658	2,181	2,651	4,074	2,392	22,289	4,693	3,292	3,278	7,360	1,249	2,811	3,240										